

新しい施設の4つの特徴

市内のごみ処理施設である町田リサイクル文化センターは、1982年に運転を開始し老朽化が進みました。将来にわたり安定したごみ処理を安全に行っていくため、2017年から新たなごみ処理施設の整備を始め、いよいよ2022年1月に町田市バイオエネルギー

センターとして本稼働しました。

市では、市民の皆さん、事業者の皆さん、行政の協働のもとにごみの更なる減量や資源化に取り組み、未来につながる持続可能で環境負荷の少ない街を目指していきます。



生活環境に優しい

- 最新の技術で厳しい環境基準をクリア
- ごみから生じるエネルギーを活用した高効率発電

町田市バイオエネルギーセンターは、地域の方々と取り決めた厳しい排ガス規制値を守りながら安全に運営し、ごみ焼却で生じたエネルギーを発電に利用する、環境に優しい施設です。

1日のごみ処理能力

焼却施設 = 258t



×約130台分

バイオガス化施設 = 50t



×約25台分

不燃・粗大ごみ処理施設 = 47t

東日本で初の導入!

バイオガス化施設を併設

燃やせるごみから機械選別装置で生ごみ等を取り出し、発酵槽と呼ばれる大きな筒状の設備に投入します。発酵槽でごみを発酵させてメタンガスを主成分とするバイオガスを発生させます。このガスから不純物を取り除き、発電機の燃料として利用します。



新しい施設の特徴

●発電量は前施設の1.7倍

焼却熱を利用した蒸気発電とバイオガス発電により、1日当たり約8万4000キロワットアワーの電力を作り出すことができます。これは一般家庭の消費電力に換算すると、約8400世帯分に相当します。今までの施設と比較すると、ごみ1トン当たりの発電量は、約1.7倍になります。また、ごみ焼却の余熱は室内プールの敷地内に4月にオープンする健康増進温浴施設でも利用されます。

●公設民営で運営

施設整備から運営まで約20年間、一括して民間事業者に委託する「DBO方式」で運営します。

●地球にやさしい

石油や石炭などの化石燃料を使用せずに発電する施設なので地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出量を削減できます。



災害に強い

- 災害が発生しても安全に稼働
- 災害発生時は地域の防災拠点として機能
- 災害時も施設で必要な電力を100%確保

災害による被害の状況に応じ、段階的に電力を確保し、施設に必要なすべての電力をまかなうことが可能です。また、施設の中で復旧が早いバイオガス化施設を最大限活用し、災害発生後も継続してごみ処理が行えます。



コミュニティ機能の充実

- 施設見学や環境学習などのサービスを実施
- 会議室など市民が利用できる施設を併設

町田市のごみ処理の歴史や処理方法などを実際の設備を見ながら楽しく学べる施設見学や、環境学習を実施します。また、市民の方が利用できる会議室などもあり地域活動などに利用できます。



クレーンのトリックアート



安全で安定的な運営

- 稼働状況を情報公開
- 地域社会の活性化に貢献

市民の皆さんが安心して生活できるように、稼働状況を広く情報公開します。また、市民の皆さんが親しみを感じることができるよう、地域社会の活性化に貢献できる施設運営を行います。



新しい熱回収施設の運営に向けて

町田市バイオエネルギーセンターは、建設に当たり、周辺住民の代表で構成する地区連絡会等で周辺住民の皆さんと話し合い、施設に求めるコンセプトを協働でまとめてきました。

町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会 会長 高橋 清人氏



今までの老朽化した施設から技術面でも最新のきれいな施設となり、地元としては今後安定して運営されることを、期待しています。この施設を、子どもたちが見学することで、ごみ問題やもう少し広くいえば地球の環境問題に、小さい頃から関心を持ってもらい、将来町田市全体の環境意識や環境レベルが上がることを期待しています。

施設の紹介やインタビューの内容は町田市公式動画チャンネルでも配信中!
「生まれ変わった町田市バイオエネルギーセンター」



きれいな地球を未来へ残すために 私たちができること



Q.バイオガス化施設ができれば、生ごみの減量は必要なくなるの?

A.いいえ。生ごみの量は、バイオガス化施設の処理量を超えています。お店では食べられる分だけ注文する、自宅では食べられる分だけ作るなど、生ごみの減量に向けて引き続き皆さんのご協力が必要です。

Q.プラスチックをたくさん焼却してエネルギーを多く回収した方がいいの?

A.いいえ。プラスチックを焼却する際に排出される温室効果ガスは、地球温暖化の一因と考えられています。マイボトルやマイバッグを利用するなど、プラスチックごみの減量に向けて引き続き皆さんのご協力が必要です。

町田市環境シンポジウム2022 「脱炭素社会に向けた町田市のまちづくり」

「脱炭素社会に向けた町田市のまちづくり」をテーマにトークセッションを行います。また希望者を対象に、プレイベントとして町田市バイオエネルギーセンターの工場見学も行います。

- 日 1月29日(土)午後2時~4時30分(工場見学は午後1時から)
- 場 町田市バイオエネルギーセンター 定 60人(抽選、結果は1月20日ごろ送付)
- 申 1月5日正午~11日にイベントダイヤル(☎724・5656)またはイベシスコード220105C
- 問 環境政策課☎724・4386